お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	厳守	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

インバータ器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換　ランプ交換については、裏面をご参照ください。

適合ランプ　FHF32

当社製ランプを使用してください。

蛍光ランプは点滅回数が多いと短寿命になります

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・みがき粉やたわし　・殺虫剤
・シンナーなど揮発性のもの　・熱湯

○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

■使用環境によって劣化が早まる場合がありますので、工事店の専門家による定期的な点検、早めの部品交換をおすすめします。

⚠警告
器具内・ランプを水洗いしない
（火災・感電の原因）

照明器具の寿命について

●**照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）

煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
連絡先　三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

E762Z020H24

MITSUBISHI
三菱蛍光灯器具

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

Easyeco Super II　低温室用照明器具　防じん・防噴流形（器具防水）

形名　YPR4011 PH
YPR4012 PH

（使用温度範囲 －40℃ ～ ＋35℃）

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	器具を密集して取付けない。（10cm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
	腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
			調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）

お願い

■指定の使用温度範囲でご使用ください。周囲温度－40℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。

■器具に吹出口の風が直接あたらないよう設置してください。やむなく設置する場合は、器具より少し離してフードを設けてください。

■ランプチューブは長年使用しますと、変色等の劣化が起こります。ヒビ、割れが発生した場合は、速やかに交換してください。正常にランプを保温できなくなり、光束の低下やランプの短寿命となります。

■周囲温度が－30℃のとき、光出力が50%に到達するまで約10分、光出力が最大になるまで約30分かかります。

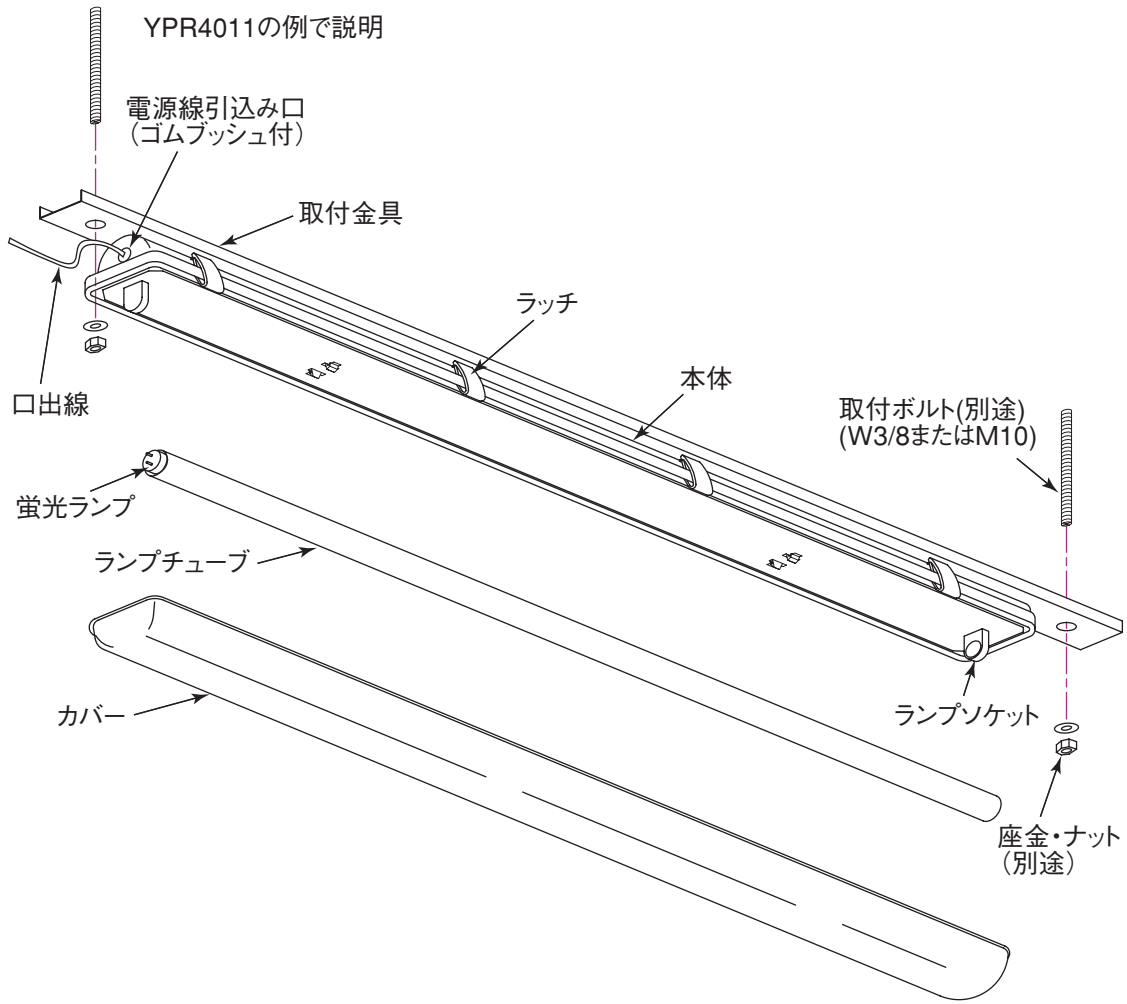
■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。（すき間が発生することがあります。）

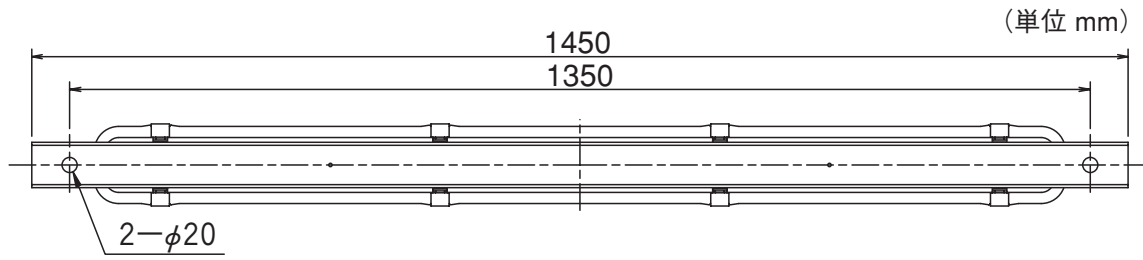
■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

YPR4011の例で説明

1 天井に取付ボルトを設ける

○天井に下図の器具背面から見た取付寸法に合った取付ボルトを設ける。
器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

（単位 mm）

⚠警 告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 本体をボルトに取付ける

○取付金具を取付ボルトに座金とナットで確実に取付ける。

⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を接続する

電源線と口出線を確実に接続する。

○口出線長さは、電源ブッシュ穴より器具外約0.58mです。

○高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。

○電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施す事。

○アース線を接地端子に圧着する。

<D種（第３種）接地工事が必要です。>

⚠警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

⚠警 告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

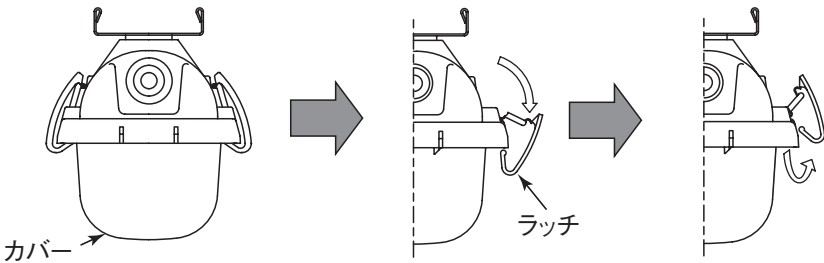
ランプ交換

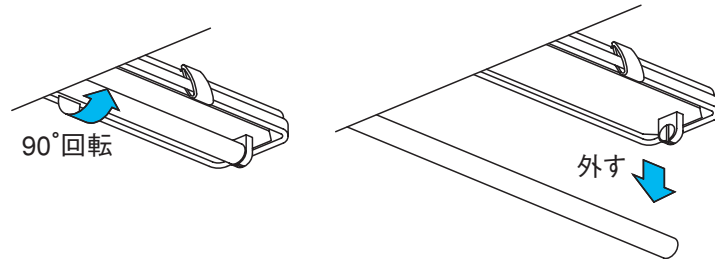
⚠警 告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

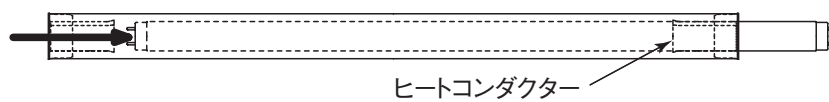
適合ランプ　FHF32

三菱電機オスラムランプを使用してください。

1 カバーを外す

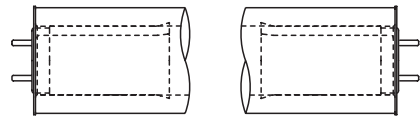
ラッチ（8ヶ所）を外し、カバーを取る。

2 ランプを器具から取り外す

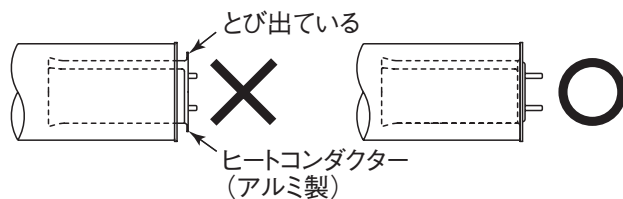
ランプチューブ中央部を強くつまみながら90゜回転させて外す。

3 ランプの取り出し方

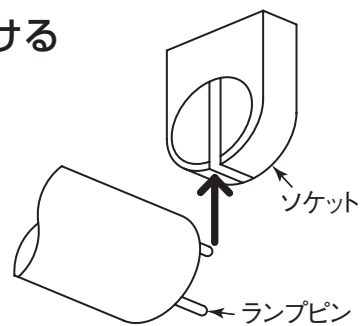
○片方のヒートコンダクターを押さえながら、もう片方からランプを押し出す。

○ランプが押し出しにくい場合は、
①内側のランプチューブごと取り外す。
②片方からランプを押し出し、もう片方はヒートコンダクターごと取り出す。
③ランプと一緒に取り出したヒートコンダクターは回転させながら外す。

4 ランプの挿入の仕方

○ランプをランプチューブに差し込む。
もう片方のヒートコンダクターが抜けないよう手で抑える。

○ランプがランプチューブから左右均等に出ていることを確認する。

⚠注 意
取付けに不備があると、感電・火災の原因

○ランプチューブからパッキンやヒートコンダクターが、とび出ていないか確認する。

5 ランプを器具へ確実に取付ける

ランプピンをソケットに差し込み、ランプチューブ中央部を強くつまみながら90゜回転させ、ランプを確実に装着する。

6 カバーを取付ける

本体にカバーを確実に合わせ、ラッチ（8ヶ所）をカバーのふちに引掛け、パチッと音がするまで本体側へ押し込む。

⚠注 意
取付けが不完全な場合落下の原因

⚠注 意
○**点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない**
（高温のためやけどの原因）
○**ランプはソケットに確実に取付ける**
（取付けが不完全な場合落下の原因）
○**使用済みのランプは不用意に割らない**
（ガラスが飛散してけがの原因）
○**ソケットの清掃に洗剤を使用しない**
（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）